

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 ( 藤井 嘉彦 )	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5 億円
		通常砂防事業 うるし谷川 <sup>たに</sup>		内用地補償費	0.05 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡香美町村岡区村岡 <sup>むらおか</sup>			H20	H20	H23
事業目的			事業内容		
土石流対策 ・当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、国道9号、町道、新町集会施設及び災害時要援護者施設であるかつら作業所を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 8.0m, L = 50.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全、安心		<ul style="list-style-type: none"> <li>・うるし谷川は土石流危険溪流である。</li> <li>・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、流域内も広範囲に荒廃している。土石流対策としては、既設えん堤があるが規模が小さく、整備率は低い水準にある。</li> <li>・保全対象は、人家等61戸(災害時要援護者施設の収容人数の換算戸数を含む)、国道9号(緊急輸送路)、町道、新町集会施設(避難所)、かつら作業所(災害時要援護者施設)などがある。</li> <li>・地元の土砂災害に対する認識度が高く、事業化への要望が強い。</li> <li>・平成21年度に土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施し、平成22年度には土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ソフト面からも土砂災害対策を推進する。</li> </ul>			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人命・財産(人家等61戸)、国道9号、町道、新町集会施設、かつら作業所を保全し、事業実施による投資効果は大きい。</li> </ul>			
効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元からの要望が強く、町の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当溪流は土砂災害緊急整備5ヶ年計画に位置付けられている。</li> <li>・土石流危険区域には人家等61戸、国道9号、町道、新町集会施設、かつら作業所がある。</li> <li>・流域状況は荒廃が進み、土砂流出の危険性が高まっているため、村岡地区の人命・財産等を保全する早急な対策が必要である。</li> </ul>			

うるしたにがわ  
うるし谷川  
[香美町]

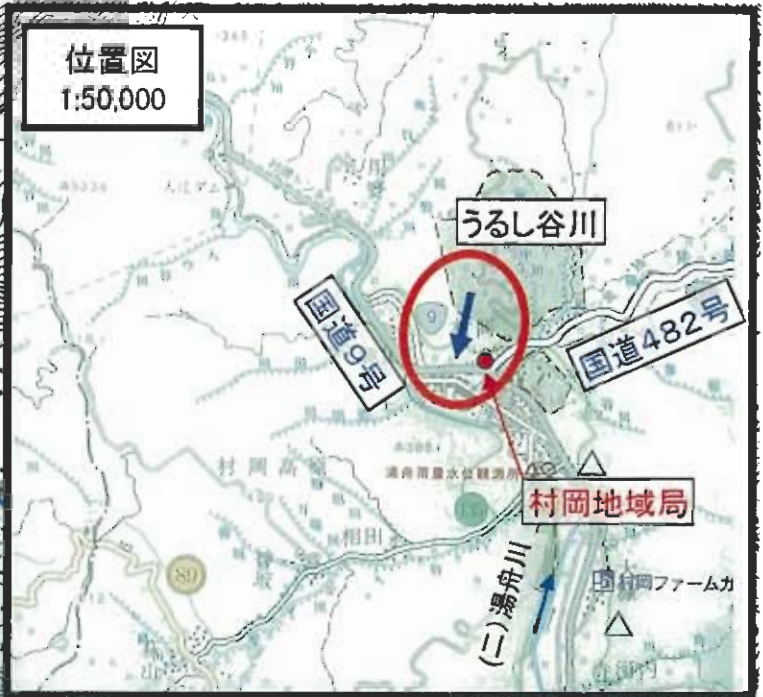
計画概略図  
縮尺 1 : 5,000



事業箇所

流域面積  $A = 0.16 \text{ km}^2$

位置図  
1:50,000



うるし谷川

国道9号

国道482号

村岡地域局

田村ファームカ

(二) 湯舟川

凡例	
	事業実施箇所
	土石流危険区域
	保全人家等

うるし谷川

えん堤工

新町集会施設(避)

かつら作業所



えん堤工  $H = 8.0 \text{ m}$ ,  $L = 50.0 \text{ m}$